

コキマダラセセリの生活①

初春～蛹化

2015年に訪道を開始して10年

いつまで続くかわからない訪道ということもあり

ある種の生活を記録して、その欠落部を埋めるという作業は、これからは意識的にする必要があるので？と感じています

特にここ数年、真冬の訪道をしていてその感を強くしています。例えば、ミスジ・オオヒカゲの産卵、オオチャバネの蛹、等々見ていない&わかっていない点がたくさんあることに気がつきました。

撮りだめた蝶の写真もそれなりになっていて、今回から少しずつまとめてみようかな？と思い始めました。永盛さんの生活史図鑑の実写版でしょうか？！（笑）

ふと、コキマダラセセリはどう？と思い始めました。いくつも思い出のシーンが頭に浮かびました

2015/5/18 夷王山 完本取材で永盛さんと道南へ行き、キマダラセセリが見つからないか？と探し始め、突然目の前に現われたのがこの写真



↑17:40→

今考えると、摂食を撮影できた貴重な写真
(気配を感じ降りた?)

惜しいことに、巣のありかを確認していない



17:46↓



2019/5/21 藻岩山

春先のこの時期、コキマダラセセリは乱雑な巣を作ります。
観察できた春先の巣を見てみます



2018/5/24 そば哲 春先のコキマを見たいと探してみた



左のような大きな
乱雑な巣
開けて中を見ると
しばらくして
巣を直し始めた⇒



2018/5/24 そば哲2 こちらは単純な巢



2019/6/3 藻岩 ススキの根元に作った巣



2019/6/3 ウトナイ

やはり大きくて乱雑な巣(ススキ)

中を見ると脱皮後の頭殻が残っている



巣内はしっかり裏打ちされていて、脱皮時に
巣が補強されている？これで終齢か？



2018/6/8 ウトナイ ススキに作った大きな巣 これも脱皮後？密な吐糸



2018/6/8 そば哲

この個体も脱皮後か？



2018/6/9 厚真 左の枯葉をひっくり返した時に
落ちてきた不思議な幼虫。

巣になっていたか未確認が残念



2021/6/10 厚沢部
開けてしまったが、スゲの巣



2021/6/11 江差
ススキの典型的な巣かもしれない



2021/7/8 島牧

ススキにあった二つの巣

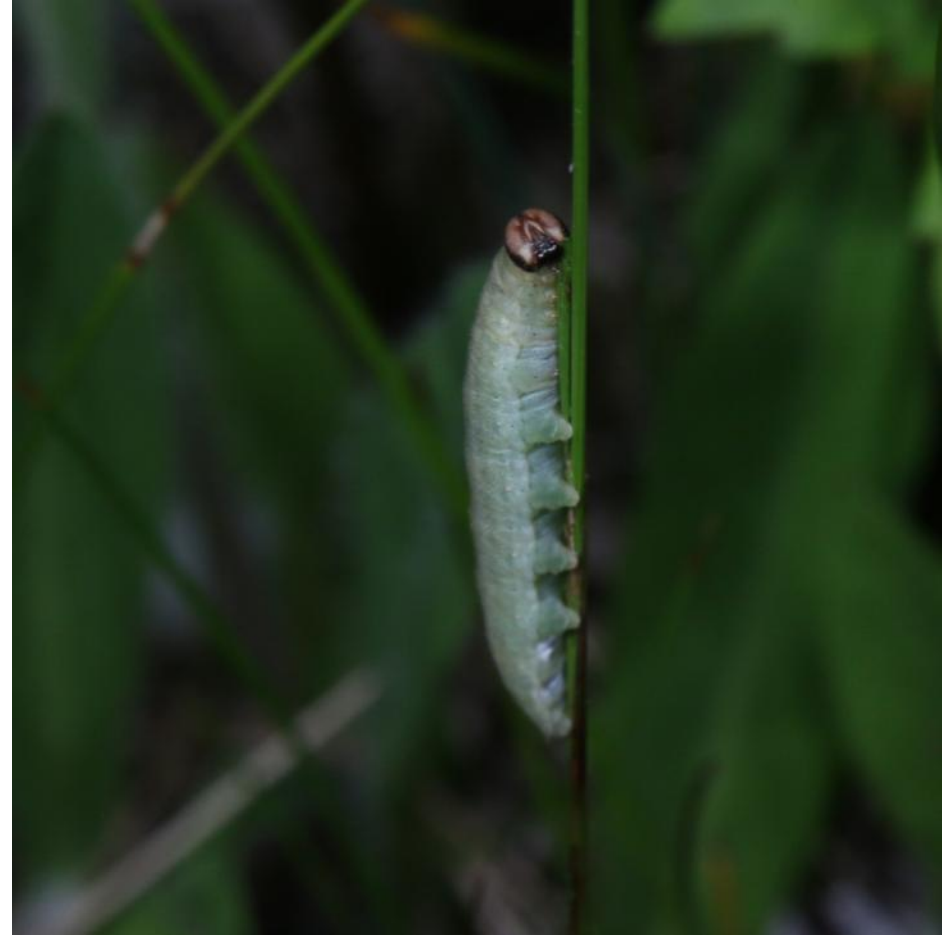


2019/6/30 三国峠

クモベニ探して見つけた(夜間)摂食幼虫
しかも... 二頭(↓

↓)

そして



2019/6/30 三国峠

1時間30～2時間経過してもまだ摂食していた！
そして...



2019/6/30 三国峠

一頭の巣はこのように双子葉植物のようだった。

(ハルジオンとか何かか?)

このコキマはここから出て長い時間、夜間摂食しているようだ



コキマダラセセリは

春先5月中旬を過ぎると巣が見つかる様になる

(その前はまだよくわからない...)

当初は他のセセリのように巣を作ってそれを食べているのかもしれない。

その後作る大きくて乱雑な巣は、自分の部屋として使い、摂食時は外に出ているのではないだろうか？

6月上旬には脱皮をして終齢になる

そして

2019/7/12 石狩三線 左の様なこれまた典型的な巣を発見
巣を開けてみると「おお、これは～！」



2019/7/12 石狩三線 蛹でした。持ち帰り→右のように無事♀が羽化しました！



あちこち & 春先からの写真を総合してみると

コキマダラセセリは春からしっかり追えば

このように春先～羽化まで記録ができそうな気がしてきた